

Course number		G-LAS13 80012 LJ90					
Course title (and course title in English)		レジリエントな社会づくりのイノベーション :展望・自由提言 Innovation for Resilient Healthy Society: Foresight and Proposal		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Medicine Professor,IMANAKA YUUICHI	
Group		Interdisciplinary Graduate Courses		Field(Classification)		Health and Medicine	
Language of instruction		Japanese		Old group		Number of credits 2	
Number of weekly time blocks		1	Class style		Lecture (Media-based course)	Year/semesters 2025・Year-round	
Days and periods		Fri.5		Target year		Graduate students	Eligible students For all majors
(Students of Graduate School of Medicine cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)							
[Overview and purpose of the course]							
<p>人口減少・超少子超高齢社会における生産年齢人口の減少や社会保障財政のひっ迫、地域格差の拡大など社会の安定化への脅威、また、風水害や地震などの自然災害、大規模な人災、サイバーテロなど様々な脅威が、より露わとなってきた。また、COVID-19のパンデミックを契機に、社会、経済、医療、国民の生活や考え方は、従来のあり方とは異なってきた。並行して、遠隔会議の普及、科学技術やその応用方法、生活のあり方、思考などにもイノベーションが生まれてきている。予測しがたく変化が大きく不確実なこの時代に、どのようなイノベーションが生じており、今後、どう展開していくか、公衆衛生・医療、経済、情報、心理、社会、環境、都市・まち、行政・法制度、思想・倫理などの諸側面から包括的に考え、最新の潮流も踏まえ展望し、ポストコロナのより充実した社会の構築・展開に向けて、自由闊達に提案し議論を深める。</p> <p>健康に関する知識が不十分、専門領域ではないと思っても、大丈夫です。専門領域や職種に関係なく聴講可能です。</p> <p>【コ・オーガナイザー】近藤 尚己（医学研究科社会健康医学系専攻 社会疫学 教授）、長尾 美紀（医学研究科医学専攻 臨床病態検査学 教授）、西浦博（医学研究科 社会健康医学系専攻 環境衛生学 教授）、今中雄一（医学研究科社会健康医学系専攻 医療経済学 教授、オーガナイザー）</p>							
[Course objectives]							
<p>健康・生活への脅威に強いレジリエントな社会づくりと、関連するイノベーションについて、多側面から包括的に具体的に考えることができるようになる。</p>							
[Course schedule and contents]							
<p>通年、金曜 5 限(およそ6月～12月)、単位数：2 単位 予定（タイトルなど改訂・変更ありうる）</p> <p>・第 1 回 6月20日 今中 雄一 （医学研究科 社会健康医学系専攻 医療経済学 教授） 「ポストコロナのレジリエントな保健医療・社会システム」</p> <p>・第 2 回 6月27日 浅利 美鈴 （総合地球環境学研究所 教授） 「ポストコロナの地球循環型社会～京都の里山より～」</p> <p>・第 3 回 7月 4日 西浦 博 （医学研究科 社会健康医学系専攻 環境衛生学 教授） 「新型コロナウイルス感染症の疫学と見通しの科学」</p> <p>・第 4 回 7月11日 角山 雄一 （環境安全保健機構放射線管理部門 准教授） 「放射線リスク</p>							
Continue to レジリエントな社会づくりのイノベーション:展望・自由提言(2)							

――研究の立場から考えるレジリエンス社会――

- ・第5回 7月18日 谷直起 (経済研究所 准教授) 「超高齢化時代における日本の財政とデータを活用した政策立案に向けた取り組み」
- ・第6回 10月3日 黒田知宏 (医学部附属病院 医療情報企画部 教授) 「ポストコロナの医療DX」
- ・第7回 10月10日 諸富徹 (経済研究科 教授) 「脱炭素時代のDXと経済」
- ・第8回 10月17日 長尾美紀 (医学部附属病院 感染制御部 教授) 「アカデミアと地方自治体で取り組む感染症対策」
- ・第9回 10月24日 牧紀男 (社会防災研究部門 教授) 「自然災害にレジリエントに備える」
- ・第10回 10月31日 内田由紀子 (人と社会の未来研究院 社会心理学・文化心理学 教授) 「文化心理学から見た幸福と健康」
- ・第11回 11月7日 児玉聡 (文学研究科倫理学研究室 教授) 「パンデミックの倫理」
- ・第12回 11月14日 依田高典 (経済学部・経済学研究科 教授) 「行動経済学と感染予防行動」
- ・第13回 11月21日 近藤尚己 (医学研究科 社会健康医学系専攻 社会疫学 教授) 「社会疫学のエビデンスから考えるレジリエントな社会づくり」
- ・第14回 11月28日 鹿島久嗣 (情報学研究科 知能情報学専攻 教授) 「prePrint時代における機械学習・AIの活用と意思決定」
- ・第15回 12月5日 広井良典 (人と社会の未来研究院 公共政策・科学哲学 教授) 「人口減少社会のデザイン」
- ・第16回 12月12日 複数教員 「まとめ：健康・生活への脅威に強い社会づくりについて」

(注) メディア授業(同時双方型)で行うが、教室に集まる者はPCを持参してオンラインにも接続する。

* 予定は変更となることがあります。初回に予定を説明します。

[Course requirements]

- ・80%以上の出席を必須とします。
- ・最終回の議論への参加を重視します。

[Evaluation methods and policy]

日々のコミットメント50%、レポート50%

[Textbooks]

Not used

[Study outside of class (preparation and review)]

特に無し。

[Other information (office hours, etc.)]

京都大学の大学院生であれば専門領域を問わず受講可

問い合わせ等は、
医療経済学教室教務 <heqm-kyoumu(at)mail2.adm.kyoto-u.ac.jp>
へ連絡してください。
面談等希望者は、適宜、教員にアポイントメントをとってください。

―― オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。――

レジリエントな社会づくりのイノベーション:展望・自由提言(3)

[Essential courses]